

社会資本総合整備計画

ひろがわちょう
広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成(第2期)(第3回変更)

ひろがわちょう
広川町

平成31年3月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年03月20日

計画の名称	広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成（第2期）													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	広川町													
計画の目標	狭あい道路の解消により、緊急車両の通行や地域住民の交通安全対策をし良好な生活環境を形成する。また今後予想される大地震や豪雨による大規模災害に備えた避難道路としての機能向上を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		262	A	262	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	狭あい道路の整備により、狭あい道路接道住宅の減少。（生活・防災環境改善） 整備する狭あい道路接道住宅数を計画期間内で0軒にする	36軒	軒	0軒

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	広川町	直接	広川町	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域	広川町						262	-	
												小計						262	
											合計						262		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	20	16	28	42	25
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	20	16	28	42	25
前年度からの繰越額 (d)	0	12	10	11	9
支払済額 (e)	8	18	27	44	15
翌年度繰越額 (f)	12	10	11	9	19
うち未契約繰越額 (g)	3	5	7	3	8
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	15	17.85	18.42	5.66	23.52
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	電柱移転先の決定に不測の日数を要し物件移転が遅延したため	地元との法線協議に不測の日数を要し測量設計業務が遅延したため	地元との法線協議に不測の日数を要し測量設計業務が遅延したため	地元との法線協議に不測の日数を要し測量設計業務が遅延したため	施行箇所沿線で実施される他工事との調整により工事を中止せざるを得なくなったため

事前評価チェックシート

計画の名称： 広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成（第2期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○

(参考図面)位置図

